

タネピリカはここ建部に新しく苗を育てに来た人と、この里を守りたいと願う地元の人との交流新聞です。

# タネピリカ



ピリカ君

タネピリカってアイヌ語で“これで良い”って意味だよ



タネピリカ



(デザイン: のりに作)

たけべおこしプロジェクトは建部町が元気に活性化することを目的として活動している、若者のグループです。

タイムカプセル「たけべのこたま」開封式典イベント リポート

「たけべで、これかろうもくろうしていく、」そう思った2月11日。

旧建部町制20周年を記念し理められたタイムカプセルが、30年の時を経て、この日開封された。30年の眠りから覚めた作文や作品、たりのリズムにのせて、当時の映像が流れると、ふるさとたけべを思い集まったたけべの人々は、確かに感動していた。このタイムカプセルをきっかけに充足した、たけべおこしのメンバーは完全燃焼。

「おこし」のメンバーは完全燃焼。この「おこし」のメンバーは完全燃焼。この「おこし」のメンバーは完全燃焼。

「おこし」のメンバーは完全燃焼。この「おこし」のメンバーは完全燃焼。

そして10年後の自分や大切な人に手紙を書いたり送ったりできる「未来

ポスト」は近未来的なシチュエーション。自分にも何かできることがあればと

集まったたけべのボランティア。みんなたけべが好きなんだ。ステーションは、

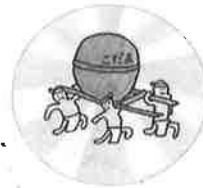
若者からの心強いメッセージ。たけべはこれかろうもますます発展していく、

人と人とのつながりをつわいでいく、メンバーからのメッセージはしっかりと伝わ

っていた。

「これかろうも、たけべ、よろしく」そう思った。

(あゆみ)



## みんな Happy アレッ子生活

我が家の長男は乳、卵アレルギーです。そんな長男ももう5歳。小学校入学へ向けて給食の事を考えていかないと、と思いましたが、間違えてアレルゲンをお口にしても命の危険がないように、そして長男の夢であるお弁当に卵焼きを入れるために、経口負荷試験を受ける事にしました。この試験は医師の指導のもと、アレルゲン(長男は卵)をごく少量から、ほぼ毎日食べ続け最終的に全卵、または生卵を食べられるように身体を慣らしていくものです。これを書いている2月現在、卵黄なら1個食べられるようになりました。近々卵白も食べ始める予定です。

昨年の今頃は卵をお口にするなんて思ってもみなかったけど、毎日何事もなく無事に食べている姿を見ると、うれしい反面いつ何が起こるか分からない怖さもあり複雑です。まだまだ長い道のりですが、お弁当に卵焼きが入れられる日を目指して頑張ろう！長男。(ゆか)



<目次>

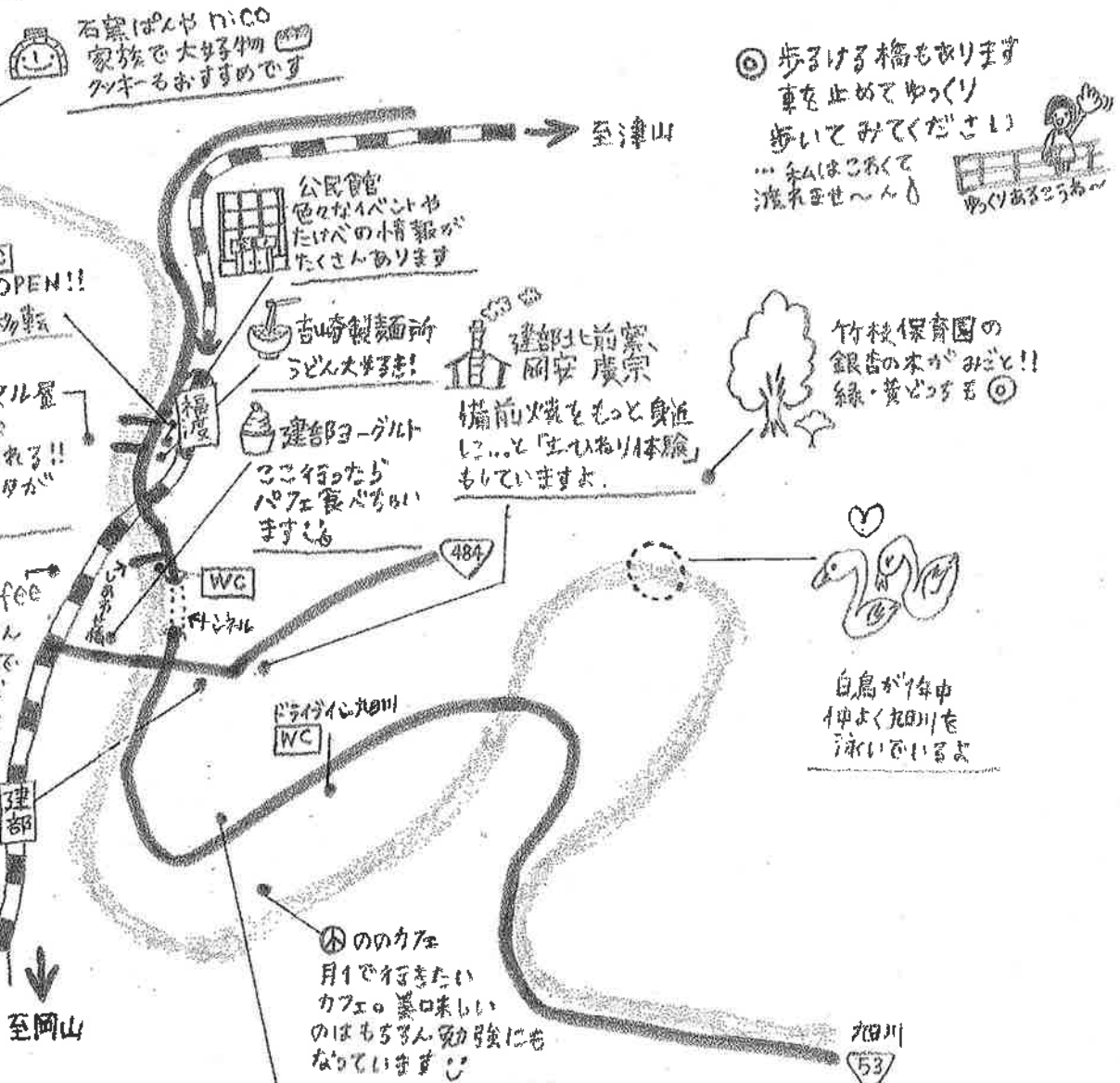
- たけべぐらし . . . . . 1
- みんな Happy アレッ子生活 1
- たけべさんぽ . . . . . 2
- 我が家 . . . . . 3
- 福島からの便り . . . . . 4.5
- 野草のおはなし . . . . . 4
- 俳句倶楽部 . . . . . 6
- 建部タイムスリップ . . . . . 6
- 日本ミツバチについて . . . . . 7
- たけべ on the ロード . . . . . 8
- 時ドキ月と気 . . . . . 9
- こんにちはあゆみです . . . . . 9
- イベント出店報告 . . . . . 10
- 編集後記 . . . . . 10
- 公民館より . . . . . 10

かおりの娘と歩く♪



# たけべさんぽ

岡山へ初住して、3月で1年が経ちました。  
 少しづつ行動範囲も広がリ、楽しんでいきます。その一部を今回は  
 糸目線で紹介しまーす♪  
 ※地図の位置のツシなどはご了承ください



石窯パンやピッコ  
 家族で大好き物  
 ツキもおすすめです

◎ 歩くける橋もありません  
 車を止めてゆっくり  
 歩いてみてください  
 ...糸目はおく  
 流れて世へん  
 歩いてるさあ

図書館 WC  
 30年5月8日 OPEN!!  
 保良センターへ移転

ピッツェリア マル屋  
 本場のピザが  
 たけべで食べられる!!  
 食後はマルゲリータが  
 大々多き

Sunny Day Coffee  
 自家焙煎のコーヒー屋さん  
 毎朝豆を挽いて飲んで  
 いる我が家には欠かせな  
 いお店。お店全体に  
 店主さんの人柄が出て  
 いると思います

挿し香 (じゅん)  
 気になる建物でした...  
 コーヒーの飲む  
 雑貨屋さんです  
 アンティークな物など  
 色々あって楽しい  
 です

公民館  
 色々なイベントや  
 たけべの情報が  
 たくさんあります

吉崎製麺所  
 うどん大好き!

建部3-ゴルト  
 ここ行ったら  
 パフェ食べたい  
 ます

建部 前寮  
 岡安 廣宗  
 備前火薬をもと身近  
 に...と「生えぬり体験」  
 もしていますよ

竹枝保育園の  
 銀杏の木がみど!!  
 緑・黄どっちも◎

白鳥が年中  
 仲よく九田川を  
 泳いでいるよ

◎ ののカフェ  
 月1で行きたい  
 カフェ。美味い  
 のはもちろん気強にも  
 なっています

◎ ケーキハウスキモト  
 地元の特産を使ったデザート  
 がたくさんのおたけべロールは  
 つい食べたくなっちゃう  
 喫茶スペースもあるので  
 ゆっくりお茶げなから  
 ケーキ...♡

さくら・あじさい・はだか・ほたる...  
 四季折々のステキなスポットが  
 あります。季節ごとに建部散策  
 へ来て下さいね。美しい物や楽しい  
 所もまだまだあります!  
 あなたの「たけべさんぽ」を  
 ぜひ楽しんでみて下さい

自然豊かで昔のまま  
 変わらずステキな所が  
 沢山あると思います  
 そこには「生活」があります  
 見に行く日などは  
 マジニはわかつ守りましょう

# 我が家

タネビリカ新聞も8年目。「我が家」という記事は、タネビリカに新しく入ったメンバーが自己紹介をしてきた記事だ。私にとってはこそばゆいもので、7年間手を伸ばそうと思わなかった。が、そろそろ書いてもいいか...という気まぐれで「我が家」。

神戸で生まれた私の分岐点は1995年1月17日の阪神淡路大震災。20年以上過ぎた今も、忘れることはあっても無かった事にはならず、引き戻される瞬間がある。岡山で暮らす皆さんは大きな災害にあったことはないかもしれない。でも、それ以後も各地で起こる新潟中越地震、東日本大震災、熊本地震 etc. 被災した人は生涯何かしらを背負う事になっているのではないだろうか。子ども時代や思春期に経験した場合は特に。

私は大人になると普通に就職し、暮らしてゆくのだと思っていた。しかし、震災を経験することでスイッチが切り替わった。図書館司書の目標を置いて、写真家を目指した。震災を経験することでスイッチが切り替わった私は当時学生で、写真家になるという夢を描いていた。好きな作家は「ダイアン・アーバス」。被写体と一体化していく彼女は、いつしか死を選択する。私にとってそれほど夢中になれる被写体とは何か。ずいぶん悩んだ末に、路上生活者にカメラを向け生活風景やポートレート撮影をしはじめた。彼らの暮らしはユニークだった。河川敷に家を建て柵を作り、犬をつないでいた。そして傍には小さな畑があるのだ(不法占拠だが)。でも、これくらいあれば人は暮らしていけるということを学んだ。発表を前提とした撮影だったにもかかわらず、3年間の撮影の間、彼らは私を温かく受け入れ全面的に協力してくれた。完成した作品は、当時若手の登竜門であったコニカミノルタプラザ(現在閉館)での写真展をしたり、清里の写真美術館に収蔵されたりした。私自身は東京でフリーランスとして売り込みの最中に華やかな世界にふれて満足し、沖縄へ移住することに決める。沖縄では主人と出会った。そしてその後、彼と共に京都、岐阜を経由し、家族3人で建部へやってきた。

建部に移住し次女が生まれて半年たった頃、東日本大震災に伴う福島原子力発電所の事故が起こった。これには参ってしまった。チェルノブイリ事故の際には、地球を2周したと言われた核生成物。岡山だから安心なわけがない。洗濯物は外に干さない、雨の降り始めは避ける、食べ物の産地を確認する。でも、周りを見ると「福島の人は大変ね。」そんな空気だ。阪神淡路大震災で感じた疎外感を思い出した。経験をした人としが共有できないのか...。岡山にいるからといって安心できるはずがない。でも、誰と共有したらいいのかわからなかった。

そんな時ふと、以前から声をかけてくれていた公民館職員さんを思い出した。私が移住者であることを知ってか、「相談する人はいるの?」「友達できた?」と、いつも気にかけてくれていた。彼らの仕事はサークル活動の部屋賃しくらいだと思っていたが、公民館の仕事調べると「地域の課題を解決するために、人と人をつなぎ、学び活動するための場を作る社会教育のコーディネーター」であることを知った。職員さんは、「一緒に新聞を作ってみない?発信することで同じ思いの人に出会えるかもしれないよ。」と言った。それが「タネビリカ新聞」の始まりだった。「タネビリカ」はアイヌ語で「これで良い」という意味。日本語では「足るを知る」に通ずると思う。いつか、大阪のおじさん達から学んだこと、この地で発見し覚えたこと、ここで出会えた仲間達と次につながる子ども達へ伝えていくことができたらいいなと思っている。

(コト)

国はもう、3.11は終わったことにしたいのかもしれませんが、けど3.11が教えてくれたのは、私たちの生き方を問い直すということです。国は自分たちのあり方を問い直したのでしょうか。どうして原発を再稼働させるのでしょうか。私たちの2世3世を守ることが、今生きている私たちの役目です。私は自然の一部です。自然に生かされています。畑や森、海にある全ての命が自然で、私と繋がっていると思います。放射能だけじゃない、農薬や食品添加物、合成洗剤などが私たちを汚し、そして未来の命をも汚すことをしっかりと見据えて、日々の選択をしていかなければならないと思います。2018年のはじめに起こった石油タンカー事故も、きちんと考えていかなければならないとも思っています。原発も車も石油ストーブも人が作り、人が使っているものです。私の育ったやまなみ農場で学んだことをこれからも生かしていきたいと思っています。現在私は、岡山県久米南町に住んでいる父のもとで自然農を学び、自給自足の暮らしを目指しています。1つ思うのは多分3.11があってもなくても私の生き方は自然と共に生きることなんだろうということです。

3.11の後は多くの出会いがありました。その出会いに支えられて今の私は前を向いているのです。3.11で確かに傷を負いました。皆に忘れて欲しくなくて、その傷を見えるようにしてきました。まだフクシマは何も終わっていないよ。忘れないでよ。今はその傷に触れると、痛みと愛おしさ感謝が溢れてきます。そして祈ります。世界中の原発が止まり二度とフクシマやチェルノブイリのような事故を起こさぬよう…。これから生まれてくる命が祝福されますように。人も自然も1つになれますように。

長々と私の話にお付き合いいただきありがとうございました。今回この文をタネピリカに載せていただく機会を与えられたことに感謝です。どうかこれからの私も見守って下さい。  
佐藤 美菜



# 野原のなまはし

みずえ

暖かくなると、空き地や畑、川原などどこにでも見られる春  
紫苑(ハルジオン)。直径1cmくらいの白花で真ん中は黄色の花が  
4〜5月に咲く。その後、初夏から冬にかけて咲くのは姫女花  
(ヒメジョオン)。この見分けがつけられない程よく似ている。

ハルジオンは花びらが細く線状で蕾がたれ下がっていて、茎  
を抱くように葉がつく。ヒメジョオンは花びらの幅が多少広  
く、茎からスッと葉が出てくる。今年は見分けられるかな。

どちらもサツと湯で水に晒しておひたしで食べられる。  
どちらも観葉植物として北米から入ってきて、明治時代に  
は雑草となったそう。繁殖  
力旺盛で侵略的外来種に  
指定されてワザワザした。

どこでもいつでも咲いていて  
おまごトにはもってこいの  
かわいい花はかわいい気持ちに  
なるのだけれど、調べてみないと  
分からないものかと思ったり次第。

ちなみに、秋に咲く紫苑(アキ  
も私の記憶では古く昔の家の  
庭や畑と結びついていて  
なつかしい気持ちになる。



春紫苑(ハルジオン)  
姫女花(ヒメジョオン)  
MIZUE  
2018.2.20

# 福島からの便り

Vol. 13

2011年3月11日

あの日から続く「今」があります  
福島に想いをよせ、耳をこらげてください



今回のお便りは、福島県から久米南町に

避難された佐藤美菜さんから。

私が19年前にお世話になった農場の娘さんで、

当時1歳的美菜ちゃんはいつも裸足で畑の上に

立っていたのを思い出します。あい

少し私の話にお付き合い下さい。私、佐藤美菜(20歳)は福島県川俣町にある、やまなみ農場に生まれ、育てられました。やまなみ農場は、畑を耕さない、草や虫を敵としない農法「自然農」を実践していました。子どもの頃はよく畑の草花で遊んだり、猫と山に入って探検したり、木登りをしたりして過ごしていました。自給自足をめざしていたため、我が家では野菜やお米、加工食品を作ったり、薪でお風呂を沸かし、ご飯を煮炊きする暮らしをしていました。幸せでした。ずっと続いてくればよかったのに。しかし何の予告もなく、やまなみ農場の暮らしとお別れをする日は来たのでした。7年前の2011年3月11日の大地震、津波そして福島第一原子力発電所の事故。私の所は、津波の被害はありませんでした。でも、原発事故で大量に漏れた放射能は広範囲に降り注ぎました。13日、母に指示された通り、兄2人と通常の倍以上の時間をかけて山形県山形市に避難しました。その時は本当に1週間も経たずに帰れると思っていました。遅れて避難してきた母には「もう戻れないと思った方がいい」というような事を言われました。その後、1年間続いた山形での避難生活は、13歳の私にとって「無」でした。今までの生活が無くなり、明るい未来が無くなったような気がしていました。母は福島の子どもを守ろうとさまざまな活動をしていました。でも、その活動の為、私のそばにいてくれない。現実を受け入れられず、心を空っぽにする他なかったのかもしれない。

震災から1年経とうというある日、母が私に「福島の中学に戻る？」と聞きました。私は戻る選択をしました。山形の中学には行かなかった私は1年ぶりに福島の中学校に通うようになりました。後になって、ある知人が私に言いました。「お母さんに福島の中学に戻した方がいいと言ったのは私なんだ」と。子どもを守りたい一心でかけ回っていた母にどれだけつらい思いをさせたのでしょうか？福島になんて戻ってほしくなかったはずなのに、真っ先に避難させてくれていた母に仇で返すような選択をしてしまった。分かっていたんです。国の言っている20ミリシーベルトがウソだということも、福島にはいてはいけないということも、分かっていた見ぬふりをしたんです。3.11から目を背けていた私が向き合おうと思い始めたのは、震災から2年が経った夏でした。母にすすめられて山形の全寮制の高校に入ったのが転機となりました。3.11の記憶が薄い全国から集まった同期や他学年と関わる中で、伝える人がいなければ3.11は忘れられていくと危機感を感じました。夏休み、久々にやまなみ農場を訪れてみました。震災前と変わらない風景がありました。だけど家の中は除染作業員に貸すためにキレイに片付いていました。それをみて本当に戻れないんだということが分かりました。もう私の帰る家じゃない。それでも大好きなこの家で暮らしたことを胸に刻んでおこう…。そして少しでもいい、3.11で私が経験したことを伝えていこうと思うようになりました。

山形の高校は独自の教育方針を持っていて、自分と向き合うこと、他者と向き合うことを先生が生徒と向き合いながら教えてくれました。だから私は、今まで逃げていた3.11との問題に向き合えるようになったのです。もう一つ、この高校はとても田舎にあるため、自然が豊かでした。5月の行事で登山がありました。山に入ってブナの新緑を見た時の感動は今でも忘れられません。土に触れ、野菜を育て、牛のエサとなる草を刈ったり、キラキラした川に飛び込んだり、友達と散歩しながら満天の星を見たりする高校生活は私の心を少しずつ満たしてくれていました。私は幼い頃からずっとずっと自然が大好きなんだということを改めて実感できたのです。全校生の前で3.11で経験したこと、やまなみ農場で育てられたことを話してから、だんだん皆が私を受け入れてくれていました。3.11の問題を一緒に考えてくれたり、3年目の修学旅行では青森にある六ヶ所村に行くこともできました。この高校に入れたことが3.11による導きだったのだと思います。

# 俳句倶楽部



# 建部タイムスリップ

もつと俳句の面白さを知りたい！と思ひ建部町公民館  
クラブ講座「俳句を楽しむ会」の皆さんにお願ひして、俳句に  
まつわるお話を伺いました。

系桜 風はきままな 振付師

葵風

気ままな振付師の風に、しだれ桜が楽しそうに揺れていた。

湯に花に まさにはつばね 春建部

郁子

温泉に、桜に建部のみどころいっぱい、春が来た。

咲くも自然 散るも自然の 花の下

房野

家の裏の土手に桜が毎年咲きます。散歩道に毎日  
美しく咲いていてくれることに感謝します。

日向ぼっこ 母と眠れる 心地せり

久代

日向ぼっこをしていると、幼いころ一緒の布団に寝ていた母の  
ぬくもりを思い出す。



春らしいポカポカわくわくな感じの  
俳句たち。本当にかわいくて嬉しく  
なります。いつも素敵な句を分かち  
合ってくださいありがとうございます。

かっちゃん

建部に移り住み、「はつばね」という  
言葉を耳にすることがあり、どうい  
う意味だろう？と思ひ調べました。  
「はつばね」とは物事を中心になるとい  
うことだと知りました。俳句を通し  
て建部の春を感じて頂けたら嬉しい  
です。

あや

タネピリカでお世話になつてゐる公民館「俳句を楽しむ会」の佐藤寿  
彦さんから、「昔、建部に山口誓子（やまぐちせいし）先生が来られ  
て、ここの鰻を楽しまれたと、荒瀬宏先生が生前懐かしそうに話してく  
れたことがあるんだよ。」と聞いた事がありました。建部に来られてい  
たなんてすごい！という驚きから、建部と俳句と鰻のお話を伺いまし  
た。

なぜ建部で俳句が盛んになったのかについては、神原英朗（こうはら  
ひでお）先生が書かれた資料に「敗戦によりやと平和を取り戻し、自  
由と平等・民主主義の国造りが始まり、戦争によつて途絶えていたスポ  
ーツ・文化活動も復活。俳句作りもその一つ。俳句の会『暖冬句会』は  
『生活に潤いを』を合言葉に、荒瀬宏はじめ12名で発足」と記されてい  
ました。戦後のゼロからのスタート。五・七・五というわずかに17音に込  
める熱量も、今の私たち世代とは違つたものがあつたのだろうか？と、  
想像しました。そして、この熱気こそが山口誓子との出会いだったのだ  
と思ひます。

当時、山口誓子は山陽新聞社の読者文芸欄の選者であり、暖冬句会の  
メンバーが投稿してました。そこで山口誓子の目に留まり、ある時は  
10人中6人までもが選出され入選し、第一席が荒瀬宏さんでした。誓子  
選で入選することは容易なことではなく、皆さん鍛錬を重ねられていま  
した。熱心に活動する暖冬句会のメンバーの思ひに添えて、山口誓子は  
指導のため建部へと足を運ぶ事になります。その時には皆で先生をもて  
なそうと鰻を用意したところ、「美味しい、美味しい」と堪能されまし  
た。この様子を見て、「先生が来られるとなると皆で特別に美味しい鰻  
を用意してお待ちしたものだよ。」と50年程前の事を懐かしみ荒瀬さん  
が佐藤さんに折にふれ語られたそうです。

お話を伺う中で、暖冬句会の合言葉「生活に潤いを」が気になりました  
た。現代は、物質的に満ち足り平和であると思ひます。そんな中での  
「潤い」とは何か？戦後の熱気ある復興への想ひにも憧れを抱きなが  
ら、何かに夢中になることこそが子ども達に大人として見せるべき姿な  
のかなとも考えました。

(コト)

※誓子の石碑は下神目志呂神社境内にあります。また、個人的な考えですが山口誓子  
先生に対して、歴史的人物という認識で敬称を省かせていただきました。



## 日本に古来から生息する日本ミツバチを飼い始めて6年目 立野功二さんのお話



以前公民館講座で日本ミツバチの勉強会の後、巣箱づくりをしました。作ったタネピリカメンバー曰く巣箱にハチが来ない…という事で今回はなぜハチがはいらないのか？などの疑問を解消する為、お仕事がない休日に日本ミツバチの養蜂をされている下神目在住の立野功二さんに色々教えて頂きました。養蜂に興味を持ち、自分で試行錯誤しながら養蜂を続けているそうです。

### ● なぜ日本ミツバチを飼おうと思ったのですか？

職場で養蜂をやっている方がいて、初めはその方に教えてもらった。その後もっと詳しく知りたくなり、職場の人にもっと詳しい方を紹介してもらった。日本ミツバチの養蜂は毎年色々な変化があるのが魅力です。

### ● 西洋ミツバチと日本ミツバチの養蜂の違いは？

巣箱から違う。日本ミツバチの巣箱は重箱の様に重ねて増やしていく。1年に1・2回しかハチミツが採れないが美味しい。巣が大きくなると巣箱が20キロくらいになることがある！

西洋ミツバチはテレビでよく見る額縁の様な縦型の巣箱が多い。1匹で日本ミツバチの5.6倍蜜を取ってくるので、1年に何回も遠心分離機でハチミツを採れる。



### ● 日本ミツバチの好きな花

桜、梅、サクランボ、蓮華、菜の花、クローバー、タンポポ、栗の花BBツリー、ハナカイドウ、桃などなど

### ● 過剰な農薬散布などによりミツバチが生活しにくいと言われていますが、どう思いますか？

ミツバチ達にとっては農薬散布をして欲しくはないが、農家の方々の生活も大切なので、散布しないとは言えない。昔は田んぼが白くなるくらい農薬が撒かれていた。その時はミツバチは飛んでいなかったそうです。

### ● 巣箱作りで気を付けていること、失敗談、成功談などあったら教えてください。

まず自分で分からないなりに作る。巣箱の外側はこんがり焼いて強度を出したり、内側は巣を作りやすくする為ワイヤーブラシで傷をつける。設置してみて偵察蜂が入らなかったら、シーズンが終わらないうちに改善する。巣箱の大きさを変える、巣箱の蜜蝋の分量を変える、光が入らないか、設置場所を少しずらしたら入るなど、日本みつばちは繊細！シーズン中に失敗から成功へ立て直す。本を読んでも実際やってみないと分からない世界です。



### ● ミツバチと上手に付き合うコツは？

コツは気にしすぎず、ほっときすぎず！月に1・2回巣箱や周辺の手を観察することです。ハチが活発に動いている時間帯に巣箱の中の様子を見たり、巣箱を足したりする。夜や冬のハチがあまり活動していない時に巣箱をいじると攻撃的になり、その後ずっと敏感に反応し攻撃するようになるので気を付ける。

### ● 今後の夢や、こうしていきたいなという展望はありますか？

ハチミツを売ったりすることは現在は考えていない。多くの人に日本ミツバチの養蜂の事を知ってもらい、広めていきたい。自分の採ったハチミツを食べた人から「ありがとう」という言葉が聞けたら満足です。



立野さんは興味のあることに一心に突き進み、愛情をもって日本ミツバチと接している方だな…そんな感じを受けました。国産の日本ミツバチのハチミツは市場にほとんど流通していません！貴重な日本ミツバチのハチミツは濃く、鼻から抜ける匂い、後味もすっきりしていて、風味が違います！今回の取材で巣箱を置いただけでは日本みつばちは住んでくれない、みつばちの事を考え、子どもを育てるようにお世話が必要なんだと思いました。私もかわいい日本みつばちを飼育するチャンスがあればやってみたいです！日本ミツバチに興味のある方はぜひ公民館タネピリカまでお知らせください！人数が集まったら、公民館で養蜂講座を開催したいなと思っています。

あや



## 南米コスタリカでの生活について

お話を聞きました！

昨年 11 月 10 日に建部町公民館にて「コスタリカの奇跡」という映画の上映会（みどりの映画会主催）を開催しました。この映画の内容は、1948 年に軍隊を廃止、軍事予算を社会福祉に充て、国民の幸福度を最大化する道を選んだコスタリカの奇跡に迫ったドキュメンタリーです。当日、上映会場に、コスタリカに住んでいたことがあるという女性（森山さん）が参加していました。その後、映画「コスタリカの奇跡」は 12 月に再度、建部にて上映会をする予定だったので、その上映会に合わせて森山さんにコスタリカでの生活についてお話を聞く時間を設け、スライド写真などを見せていただきながらお話を伺う機会をいただくことになりました。

森山莉紗さんは、お二人のお子さんを子育て中のママで、看護師さんです。平成 21 年から 2 年間コスタリカのカルタゴ県でボランティアをされ、その後コスタリカで結婚・出産、現在は建部在住です。



南米コスタリカは南米大陸と北米大陸のちょうど中間あたり、インカ文明とマヤ文明の境目にあたりに位置する人口 490 万人の国で、面積は九州と四国を足した位の大きさです。首都サンホセ市は岡山市の国際友好交流都市の 1 つです。給食のメニューにあるコスタリカライスで名前を聞いたことがある方もいるかもしれません。赤道に近いですが高地なので、湿気っぽくて涼しいです。国民の性格は、真面目でとても上品だそうです。

### ●コスタリカに興味を持ったきっかけは？

JICA(国際協力機構)の派遣が決まったからです。当時は、今のようにネットの情報も多くはなく、スペイン語のみに限られていました。足立力也さんの本は参考に読んでいきました。派遣先は、カルタゴ県ジャングランデという首都の隣にあって 2 番目に大きい町でした。標高 2500m。村落開発普及員(観光)として活動しました。

### ●コスタリカでの生活は？

朝は 6 時に起床。朝食はガジョピント(長粒種のお米の豆入りごはん + 野菜とスパイス)。最初の 3 か月間位は農家周りや小学校の訪問などのあいさつ周りを車が無いので徒歩でした。その後は地域の公民館で仕事をしました。地域の人たちも頻りに利用する施設で、彼らは通常 18 時に集まって話し合い・計画・プロジェクト企画などをしていました。派遣当初、その地域からの依頼は、「エコツーリズムをやりたいからボランティアが欲しい」でした。地域の方に声をかけたところ若い人も参加してくれて週 4 回集まるようになりました。

### ●コスタリカでの活動は？

「エコツーリズムがしたい」ということだったので、何が出来るか地域の人たちと考え、現地は自然豊かで、空気もいい、眺めもいい、夜景もきれいで、みな地域に誇りを持っていました。まずは環境活動をしようということになりました。植林、ゴミ集め、勉強会、自転車レースの時のゴミ箱設置(分別式)などを開始しました。それらのさまざまな活動がカルタゴ市に認められ、市から地域の方に環境賞をいただくことが出来ました。

### ●帰国して感じていること

コスタリカで環境教育に関わったことで、今ある美しい自然を守りたいという気持ちや誇りを持って次の世代に残していかなければという気持ちが強くなりました。物を大事にするようになりました。車に乗らない。無駄なことはしない。コスタリカの人のように、環境にあまり負荷をかけない生活をしている人が地球のことを考えているのに、日本人のように環境に過大な負荷をかける生活をしている人こそ環境のことを考えなければいけないと思います。

★お話を伺いながら、写真もたくさん拝見しました。紙面の関係ですべてご紹介できないのが、とても残念です。地球の裏側の遠い国が身近に感じられました。映画もお話もとっても分かりやすくよかったです。また、機会があれば、お話を伺う機会を作りたいと思います。

(かっちゃん)



# 時(とき)と気(き) 第五回「旧暦」?



「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

「旧暦」と言うのと、古いや古い風習の印象をお持ちの方もあるかも。でも、それはあくまでもお飾り。天文に忠実な本体がある、このこと。「旧暦」くらい精巧な暦は世界のどこにもありません。なのにゾンビーなのは、たぶん、天文本位なところが、キリスト本位の価値観に合わないのだから。

「そもそも、このコーナーは「旧暦」をめぐるとあれやこれやについて書きこつと思つて始めたのでした!」なのに「旧暦」はほとんど「触れな」まま連載が4回も過ぎました。たぶん、このコーナーが「続く限り、旧暦」をやると。それにしても「旧暦」という呼び方、何とかなんないかなあ。「陰暦」という言い方もあるけど、これだと「純陰暦(イスラム暦)みたいで、日本の旧暦」を指す固有名詞にはたふらない。よし、明治以前の伝統の物を呼ぶ時に付ける「和」を「暦」にくっ付けて「和暦」でどうかかな? 「西暦」の対義語じゃなく、てよ、新暦(西暦)の対義語ね!

「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

「旧暦」と言うのと、古いや古い風習の印象をお持ちの方もあるかも。でも、それはあくまでもお飾り。天文に忠実な本体がある、このこと。「旧暦」くらい精巧な暦は世界のどこにもありません。なのにゾンビーなのは、たぶん、天文本位なところが、キリスト本位の価値観に合わないのだから。

「そもそも、このコーナーは「旧暦」をめぐるとあれやこれやについて書きこつと思つて始めたのでした!」なのに「旧暦」はほとんど「触れな」まま連載が4回も過ぎました。たぶん、このコーナーが「続く限り、旧暦」をやると。それにしても「旧暦」という呼び方、何とかなんないかなあ。「陰暦」という言い方もあるけど、これだと「純陰暦(イスラム暦)みたいで、日本の旧暦」を指す固有名詞にはたふらない。よし、明治以前の伝統の物を呼ぶ時に付ける「和」を「暦」にくっ付けて「和暦」でどうかかな? 「西暦」の対義語じゃなく、てよ、新暦(西暦)の対義語ね!

「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

「旧暦」という暦があります。正確にはありません。た、「旧」と言うのは、もうという意味です。「じゃあ、いわゆる旧暦は？」という声が聞こえてきそう。政府が法律で禁止しても生き残っているゾンビー。明治五年十二月三日(1873.1.1)をもとに公的使用は一切禁止。でも、中国や台湾に行けばゾンビーじゃなくって普通に生きた暦なんだけど。旧暦の日付を決めるルール自体は、地球と月と太陽の位置や角度の関係で決まる仕組み。たとえ人類がいなくても日付は決まる。未来の日付だって「旧暦」で言える。ステキ!

## こんにちは、あゆみです

建部に住んでいた私たち家族は、2015年の春、ニュージーランドへ引っ越しました。それまでは地元の建部中学校、竹枝小学校に、子どもたちは通っていました。そして2年半後、現在の私たちの暮らしの様子などを伝える機会を頂き、久しぶりに竹枝小学校を訪ねました。

私たちはオークランドの北にあるファンガパラオア半島に住んでいます。子どもはファンガパラオアカレッジに通っています。ニュージーランドの学校は5歳で小学校に上がり、5年生までを過ごします。それから中高一貫校に通うのが一般的です。7年生から13年生までを過ごします。そんな身近な話をして、質問コーナーを最後に行くと竹枝の子どもたちは生き活きと興味のあることを投げかけてくれたのがうれしかったです。最後に私は「みなさんがもしある程度の年齢に達して、留学してみたいと思うなら、金銭的に援助はできませんが相談に乗ることはいつでもできるよ。」と話しました。

私は話を通して、竹枝小学校の子どもたちが日々学んでいるように、ニュージーランドという国ではまた違う子どもたちが学んでいる。同じ時間軸の中で違った世界が存在する。そんな感覚をちょっとでも感じてもらえたらなあ。と思ってお話しました。

いつも温かく迎えてくれるみなさん、本当に楽しい日々をありがとうございました。

あゆみ





# 取っ替えのシェイ xChange

タネピリカは、11月19日に開催された「たけべマルシェ」にxChange(エクスチェンジ)で出店しました。前回に引き続き、ファッションからエコロジーを考えよう～つながりを楽しむ服の交換会～ということで、「大切にしていた服だけでも着ない服が眠っていたら交換しませんか」と呼びかけ、みんなで持ち寄った服と服にまつわるエピソードを一緒に交換しました♪



当日はたくさんの方のご参加をいただきありがとうございました。今回は参加者の皆さんにアンケートを記入していただいたのですが、赤ちゃん連れのご家族から70代の方まで幅広い年齢層の方が参加されていました。また、季節ごとにやって欲しいというお声もいただき、とても励みになりました。

日本人は年間10kgの服を買ってそのうち9kgを捨てているというデータもあるそうです。これだけ聞くと無駄遣いだねー。という話ですが、実はこの使い捨てファストファッションの裏には、途上国の低賃金で過酷な労働(児童労働も含む)や殺虫剤や除草剤、化学染料などによる環境への負荷など、さまざまな問題があるんだな。ということも一緒に考えたいなと思っています。そういった内容を新聞にした「エクスチェンジ新聞」もマルシェ当日に配布しました。公民館にも置いてありますので読んでみてくださいね。また、このエクスチェンジを公民館と共催で行います！そして、このことをテーマにした映画の上映会もします！

詳しくは↓「公民館より」をご覧ください♪ (かっちゃん)



～編集後記～

タネピリカが始まって8年目!!  
早いものです。新聞作りを通して  
たくさんの出会いと学びがありました。  
ワクワクドキドキ楽しいです。  
かっちゃん



今回みっほの取材で立野さんからミッロウとハチミツを頂きました。ハチミツは匂いなくてちびらで食べ、ミッロウはバクテリアには家族に使いました。自然からの贈り物を実感でき建部、アスチキ大感謝でした。  
あや

記事にも書きましたが、岡山に来て1年が経つ2年目スタートです! まだまだやりたい事が出来ていないながらも、なのですが、マイペースに集まらずゆっくり過ごして行きたいです。タネピリカを通じて人とのつながりや、楽しい事、勉強になる事もたくさん!! 少い自分のレベルUP! たけべをもっと知って、まだ知らない人に発信もできたらな～なんて勝手に思っています☆  
かっちゃん



## 公民館より

春は別れと出会いの季節…。3年前の春に旅立って行ったメンバーに、たんぼぼの綿毛のように便りを送ってもらおうという企画が、今回初めて実現しました。

2011年12月の創刊号から7年。その間に、メンバーの暮らしも様々に変化しました。移住者と地元をつなぐ交流新聞として、メンバーの思いや建部の良さを発信し続けてきたタネピリカ新聞の内容も、いろいろに変化しながらここまで紡いでできました。以前のように大勢で度々集まることは難しくなってきましたが、心の居場所としていつまでも活動し続けたいと話し合っています。

### <タネピリカ&公民館 共催企画>

xChange～つながりを楽しむ服の交換会～  
6月1日(金)、2日(土)、3日(日) 10:00～16:00  
※5月21日(月)～6月4日(月)は、食器交換会も。

映画上映会(みどりの映画会)  
「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッションの代償～」  
6月11日(月) 10:00～上映、11:30～お茶会  
◇視聴料: 800円

詳細は、「たけべだより4月号」をご覧ください♪  
Facebookでもご覧になれます。  
⇒ 岡山市立建部町公民館フェイスブックで検索★

【発行】  
岡山市立建部町公民館「タネピリカ」新聞委員会  
〒709-3111 岡山市北区建部町福渡496-1  
電話(086)722-2212 Fax(086)722-2160  
E-mail takebekoumin@city.okayama.lg.jp